

図書室だより

平成30年7月
宮古商業高等学校
図書委員会

本格的な夏がやって来て毎日暑いですね…。しっかり水分補給や休息を取りながら夏バテに気をつけて生活しましょう。三者面談も終わり、いよいよ夏休みが来ますね。1・2年生は与えられた各教科の課題を計画的にやりましょう。3年生は大事な、大事な夏休みになります。夏休み明けから、進学・就職ともに忙しい時期になってきます。焦ることがないように、自分の進路の「やらなければならない事」をしっかりとやりましょう。



図書委員のオススメの本

題名 『たとえ明日、世界が滅びても今日、僕はリンゴの木を植える』

筆者 瀧森 古都 出版社 SB Creative

この本は関西弁のインド人「オム」と笑わないピエロ「修二」がショッピングモールの屋上から飛び降りようとしている女の子を助けることから始まります。この女の子との出会いによって修二とオムは自分の過去と向き合うことになります。誰にも後悔や暗い過去があり、いびつな感情をむき出しにしながら、若い二人は生きる上で最も大切なことに気づかされていくミステリアスな感動ストーリーです。ぜひ、読んでみてください。



丹野先生の『私の一冊』

私が学生時代（確か中学生）に国語の授業で習ったことのあるものですが、「友情」や「信頼」について考えさせられた記憶があります。以下、セリヌンティウスの立場で考えを述べます。王様に捕まったメロスは、妹の結婚式を挙げるために友人のセリヌンティウスを人質にしました。人質になりたいという人は誰もいないと思いますが、『裏切られるかもしれない…』という気持ちを抱きつつもセリヌンティウスが引き受けたという点で、2人は強い絆で結ばれていると感じました。また、3日間のなかで1度だけメロスが戻ってこないのではないかと疑いながらも、最後まで待ち続けていたことに対して、相手を信頼することの難しさ（疑ってしまったという行為）や信じ続けることの大切さを学びました。もし、「友情」や「信頼」といったことで悩みが生じた場合に、一読をお勧めします。既に読んでいても、そういった場合はもう一度読んでみてください。



お知らせ



7月24日からいよいよ夏休みが始まりますね。夏休み中、1・2年生は各教科の課題とプラス『**読書感想文**』があります。学校の図書室で借りた本、または家にある本でもかまいません。雑誌や漫画ではなく、物語や小説などをしっかり読み、下記の指示にしたがって取り組みましょう。

夏の「校内読書感想文コンクール」

対象：1年生・2年生

提出日：8月17日（金）

- ① 用紙・字数・・・400字詰め原稿用紙5枚
- ② 書き出し・・・1行目 題「○○を読んで」以外のタイトをつける
2行目 クラス、番号、名前
3行目 空ける
4行目 内容の書き出し
- ③ 書き終わったら3行以上空け、以下の情報を添える
(この情報は本文とは見なさない)

書名 『 』

出版社名 ○○社

作者名 『 』

話題の記事

皆さんワールドカップは見ましたか？残念ながら日本代表はベルギー代表に敗退しましたが、試合後のロッカールームに賛辞が送られています。しっかりと清掃され、ロシア語で「ありがとう」のメモと青の折り鶴。素晴らしいことですね！学ばなければいけないことですね。

皆さんも昼休みや授業で図書室を利用することがあると思います。利用した後、読んだ本の整理や椅子・机の整頓、消しゴムのカスの処理など図書室をキレイに使いましょう！

